

戯曲

に関わる
すべての人に
開かれた
セミナーです

《日本の戯曲研修セミナー in 東京》

清水邦夫

『真情あふるる軽薄さ』 を読む！

東京実行委員会が主催する日本の戯曲研修セミナーにおいて、清水邦夫を取り上げます。『真情あふるる軽薄さ』の1シーンを3人の演出家が実験的に演出・上演することにより、戯曲の魅力と可能性、またその課題を探求します。最終日は発表会と、演出家・俳優・実行委員を交えたフィードバックを公開します。

SHIMIZU KUNIO

清水邦夫（しみず・くにお）…劇作家、演出家、小説家。新潟県生まれ。早稲田大学演劇科在学中に処女戯曲『署名人』（1958）を発表。岩波映画入社後、ドキュメンタリーや映画のシナリオを執筆。1965年にフリーランスへ転身し、本格的に劇作家の道へ。特に1960年代後期から、演出家の蜷川幸雄氏と組んで清新な作品を次々と送り出し、多くの支持を集めた。1994～2007年多摩美術大学教授。2002年紫綬褒章、2008年旭日小綬章受章。（kunioshimizu.netより）

真情あふるる軽薄さを読む

[日時] 2026/1/10(土)
1/11(日)

13:30 - 17:00

[会場] ペーパーバックスタジオ

[日時] 2026/1/18(日)
14:00 - 19:00

[会場] 下北沢・アレイホール

見学者募集！

一般社団法人 日本演出者協会

